

議 事 録

議 題	令和5年度一般社団法人東京建設業協会との意見交換会	
日 時	令和6年2月5日(月)10:00～11:30	
場 所	AP 東京八重洲10階「Room W」	
出 席 者	■(一社)東京建設業協会	11名
	□東京都住宅政策本部	7名
配布資料	○令和5年度都営住宅建築工事発注状況一覧(令和6年2月5日時点)	
議 事 内 容		
<p>1. 挨拶・自己紹介</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 入札状況・年間発注予定</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 令和5年度都営住宅建築工事発注状況については、添付資料のとおり。入札不調が2件あった。 ■ なぜ不調になるのか都の考えを示してほしい。 □ 大森北二丁目は、土壌汚染対策工事があったため敬遠されたのではないかと。桐ヶ丘二丁目は、なぜ不調になったのか不明。 □ 最近の傾向として、難工事が敬遠されているのではないかと見ている。 ■ タイミングが合わないため入札できないことがある。現場の状況を見て判断する業者もいる。建築工事の中に土木工事が多く含まれていると、手を出せない。協力業者との金額が合わない。協力業者がなかなか確保できない。土壌汚染があると、工期延伸されることが多く、会社によっては、先の工事も見込んでいる中で、工期が見えないと手が出せない。会社で予想した経費と、都の経費と差があり、現実的に請け負うのは難しい。 ■ 週休2日モデル工事の労務単価の割増は1.05ではなく1.2程度必要と考えている。 <p>(2) 週休2日制の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 来年度以降契約案件から週休2日促進工事として取り組んでいく。 単価については労務費を5%補正し、工期算定は日建連プログラム参考として設定する。現在契約済みの工事においては、働く方の週休2日を確保出来る方法とし、労務単価の補正等を検討している。なるべく早い段階で示したい。 ■ 工程表の根拠を明示してほしい。工期算定プログラムに基づいているようだが、関連設備工事が不調になった場合に建築工事でも中止せざるを得ない。 □ 積算基準に基づいて工期算定していたが、今後はプログラムに基づいて算定していくこととなる。週休2日などを反映しているものと考えている。 ■ 東京都の予定価格では金額が合わない。 □ 検討させていただく。 ■ プログラムの根拠を理解しているのか。現実として、工期内に収まらない。労働基準監督署は、土曜日の作業は残業と認識している。4週8閉所とは異なるといっている。工期を延伸できるかどうかは模索し伸ばしてもらえが、そこに係る経費が増やしているわけではない。都営住宅に限らないが、4週8閉所を実現するためにも経費を払ってほしい。 		

- 労務単価の補正 1.05については日給月給の方がいる。土曜日ができない分労務単価の補正は 1.2 がベースとなるのではないか。国準拠ではなく、都独自の取り組みとして検討していただきたい。現場サイドからも話を上げてほしい。
- ご要望については、関係部署と共有していく。
- 大手と中小の工期算定では異なる。プログラムで算出したものが中小でできるものではない。中小に対してヒアリングしてもらうことが重要ではないか。工期はよいが、経費を見てもらわないと躊躇してしまう。
- 労務調査を行ったときに、手当分、現場管理費は積み上げ方式とするなど検討してほしい。

(3) 書類削減等生産性向上の取り組みについて

- ASP について、年度内目途に準備している。
- ASP 検査の時にモニターで確認ができるようになる。かなり有効となる。建設ディレクターを各社採用しているので、経費、現場管理費を見てほしい。品質が良い建物を作るにはお金がかかる。若者の確保にもつながる。品質確保のため国のチェックシートなど活用して、書類を簡素化し、品質確保につなげてもらいたい。
- 週休2日のために労働基準監督署に提出する資料が増える。労働基準監督署と調整して簡素化につなげてほしい。
- 書類削減のために現場の意見を吸い上げるために業者を含めた委員会を是非開いてほしい。建設局では昨年検討しており、4月稼働するのでは。財務局検収課とも検査書類の削減について相談して検討している。
- 検査書類の削減については財務局からも聞いている。ASP の活用についても検証していきたい。

(4) 工事現場における遠隔臨場について

- 令和6年二定案件から、受注者希望で遠隔臨場ができることとなっている。
- 始まったばかりなので、今後も意見交換しながら進めていきたい。
- 遠隔臨場で行ったものは検査が不要としてもらうと、書類削減になる。ASP と合わせて時短となる。経費についても、積み上げでみていただきたい。

(5) その他

- 物価上昇によるインフレスライド条項が示されているが、労務単価が合わない。実際の上昇がどれだけ上がっているのか見てもらって、反映してほしい。協力業者がいないと成り立たない。
- 工期延伸の経費が合わないので現実にあったものを考慮してほしい。
- 遠隔臨場のURLを確認したが、検査の際に映像は認められないのか。監督の検査が合格であれば完了検査も合格とするのが遠隔臨場のメリットとなる。監督の会議利用だけでは、遠隔臨場のメリットが少ない。
- 大手、中小に限らず残業の原因は書類作成が多いため、思い切って遠隔、ASP 等のシステム化を進めていただきたい。
- ご意見を賜った。遠隔臨場は始まったばかりなので、今後も意見交換しながら進めていきたい。